

# 読んで考える

公立中高一貫校 合格力講座

資料問題編 ⑥

## 「グローバル化」の課題とは



執筆・早稲田進学会(大島茂) イラスト・大野直人(エヌノート)



**挑戦!**  
高知県立高知国際中学校・高知南中学校  
2020年度 適性検査問題Aから抜粋  
(一部改変)

あおいさんの学級では、人々の国境をこえた活動が広がることが意味する「グローバル化」が進むこれからの社会の課題について、話し合うことになりました。次の【文章】を読み、問題に答えなさい。

**【文章】**

今は①「グローバル化の時代」といわれている。国内だけに目を向けるのではなく、視野を世界に広げなければいけない。「ものづくり」も、「ことづくり」も、すべて世界全体を見渡して行うことが必要だ。そんなふうにもうが言う。

しかし、文化の本質はグローバルと反対のところにある。つまりローカルだ。

これはべつに難しい話ではない。自分が生まれてきたこのローカルな場所、可能性をいかに開花させていくか。これが文化の本質だと思ふ。

料理のことを考えればよくわかる。日本には日本料理があり、フランスにはフランス料理、イタリアにはイタリア料理がある。これらはすべてローカルなもの。イタリア人は子どもの頃から母親に、「マリオ! パスタを食べる時に、お皿を温めなくてどうするの!」なんて言われて育っているから、当たり前のようにパスタを食べる時は皿を温める。それはイタリア固有の文化だ。

イタリア人はイタリア料理を大事にして、フランス人はフランス料理を愛し、日本人は日本料理を守る。それが世界の豊かさにつながる。

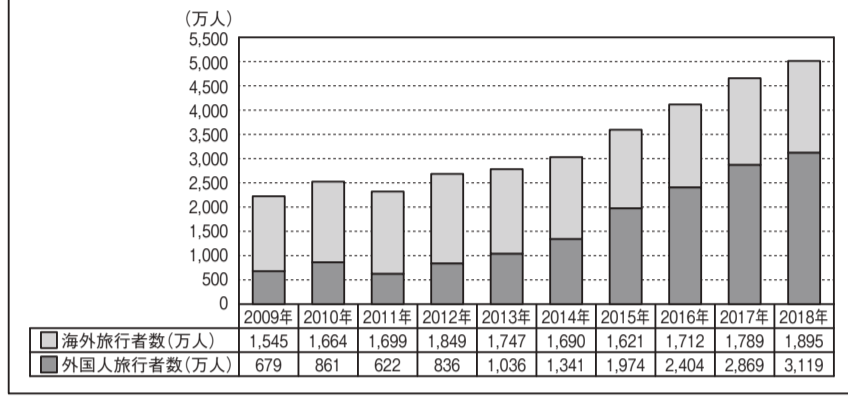
たとえばイタリア料理とフランス料理と日本料理を混ぜ合わせたらどうだろう。見た目には新奇なものができるが、つまらない。何も特徴が出ない。最初は物珍しさから話題になるかもしれないけれど、きつと味もあまりおいしくないから、すぐに飽きられてしまうだろう。

あらゆる色は混ぜ合わせるとグレーになる。それと同じことだ。グローバル化というのは、あらゆる文化を混ぜあわせてグレーにすることではない。それではすべて均一になってしまう。自分たちの文化の特徴を磨き抜いて、それを世界の文脈につなげる。そのことによって世界を多様で豊かなものにしていく。それがグローバル化の真価ではないだろうか。

(原 研哉「日本のデザイン、その成り立ちと未来」『続・中学生からの大学講義3 創造するということ』〈ちくまプリマー新書〉所収)

**問題1** 【文章】中の——線部①に「グローバル化の時代」とありますが、近年は日本と外国の間を旅行する人がたいへん多くなっています。次の【資料】は、2009年から2018年における日本人の海外旅行者数と日本を訪れた外国人旅行者数の移り変わりを表したものです。【資料】から読み取れることについて述べた文として正しいものを、あとのア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

【資料】日本人の海外旅行者数と日本を訪れた外国人旅行者数の移り変わり



- ア 2009年から2018年にかけて、海外旅行者数と外国人旅行者数のどちらも、最も多い年は2018年であり、最も少ない年は2009年である。
- イ 2009年と2018年を比べると、海外旅行者数と外国人旅行者数を合わせた数が2018年は2009年の3倍以上となっている。
- ウ 2009年から2018年にかけて、外国人旅行者数が海外旅行者数より多くなったのは2015年以降である。
- エ 2009年から2018年にかけて、外国人旅行者数が前の年と比べて最も増えたのは2018年である。

**問題2** 資料として読んだ【文章】を参考にしながら、グローバル化について話し合いをしました。次の【会話】を読み、あとの問いに答えなさい。

**【会話】**

あおい: 【文章】には、グローバル化が進んでいることが書かれていたね。グローバル化の時代というのは、国と国との境目がなくなっていく時代ということなのかな。

ひなた: 私たちが大人になるころにはグローバル化はもっと進んでいるだろうから、中学生になったら英語の勉強をがんばろうと思っていたのだけれど、必要なのはそういうことだけではないみたいだね。この【文章】は、「自分たちの文化の特徴を磨き抜いて、それを世界の文脈につなげる。そのことによって世界を多様で豊かなものにしていく。」と述べているよ。

みちる: 言葉が通じ合うことも大事だけれど、この【文章】は、おたがいの文化を理解し合ったり尊重し合ったりすることが重要だということを伝えたいのかな。

あおい: アメリカのハンバーガーショップが、世界の半数以上の国に出店しているという資料を見たことがあるよ。ふだん手軽に食べているハンバーガーをどこの国に行っても食べられるのは便利だし安心だけれど、それぞれの国の文化という点から考えると、@いろいろな課題があるのかもしれないな。

ひなた: この【文章】の「グローバル化」というのは、あらゆる文化を混ぜあわせてグレーにすることではない。」という言葉は、そういう課題に関係している言葉なのかもしれないね。

**問** 【会話】中の下線部②に「いろいろな課題」とありますが、世界中の国に同じ店が出されるというようにグローバル化が進むと、それぞれの国の文化という点で、どのような課題があると考えられますか。また、そのような課題に対して、私たちはどのようにしていくことが必要だと思いますか。【文章】や【会話】を参考にし、あなたの考えを、具体例をあげながら、80字以上100字以内で書きなさい。

**まずと 解いてみよう!**

解説・解答を見ないで、まず自分で分析してみよう!

**かい せつ 解 説**

**問題1** 海外旅行者数と外国人旅行者数の二つの数値を注意深く、かつ素早くとらえ、およその計算をしながら見通しを立てることがポイントです。

**問題2** 文化の本質は、グローバルと反対のローカル(各地方、地域それぞれの特別なありよう)にあり、その固有な文化の可能性を開花させ、世界の豊かさにつながることにあります。そのためには、おたがいの文化を理解、尊重することが重要になり、また、自分たちも、ローカルを意識し大切に守り育てていくことが求められますね。

**かい とう れい 解答例**

**問題1** ウ **問題2** 【例】他の国の文化を取り入れることで、自分たちの文化の特ちょうがあいまいになることが課題だ。外国の習慣や行事を楽しむことが増えたが、地域に残る伝統的な祭りの意味や良さを知り守っていくことも必要だと思ふ。

毎週日曜に掲載します。